

『全能の力をあなたに』 エペソ人への手紙1章17～21節 2015.10.11(主日礼拝説教より)

『私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。』

ローマ人への手紙 8 章 38～39 節

見えない神の全能の力が、今、自分の生活の中で働いていると確信するにはどうすれば良いのか？パウロは祈った！「あなたがたの心の目がはっきり見えるようになり…信じる者に働く神のすぐれた力がどのように偉大かを知ることができますように(18～19 節)」と。神の力は信仰を通して知る。しかし啓示の神は、人類の歴史を通し、私たちの理性を通して、ご自身を明らかにされた。聖書の言葉(預言)は歴史の中で少なくとも、400 回以上 100%実現してきた。この事実こそ、聖書が生ける神の言葉であることの証明である。

◆その顕著な、ひとつの例はユダヤ民族の預言。『わたしは彼らを国々の民の間にまき散らす、彼らは遠くの国々でわたしを思い出し、その子らと共に生きながらえて帰って来る(ゼカリヤ 10:9)』。この預言の 600 年後(AD70)、ローマ帝国の支配下で、イスラエルは崩壊し、全世界へ散らされた。しかし彼らは、世界中の迫害、ナチスの大量虐殺の中でも、民族の誇りを保ち、生き延び続け、離散から 1900 年後(1948 年)、以前と同じ場所に国を再建し、ヘブル語を復活させて公用語とし、独立宣言！その日に周辺のアラブ諸国が攻め込み、5000 対1の劣勢の中だったがその独立戦争にも勝利した！すべて預言通りに実現したのである！人類史上最も苦しんだ無残で悲惨な民が、完全な愛の神を信じ、疑うことがなかった。この愛の神が、私たちの日常に全能の力を現される。

◆何万 kw もの電力が変電所を経て初めて家庭で使えるように、神の全能も、私たちの信仰と必要に応じて、一人一人が使える形で、小出しに届けられる。冷めた心を熱くし、怒りを沈め、お先真っ暗な人生を照らし、落ち込んだ心に賛美の力、憎い人を赦す力、祈る力、奉仕する力…を求めに応じて注がれる。イエス様の、『わたしにとどまっていなさい…わたしの愛の中になさい。そうすれば、どんな願いも叶う(ヨハネ 15:7,9)』との言葉は、全能の愛の神と共に生きる者の祝福された人生の姿そのものである。